



報道関係者各位

2026 年 9 月 3 日
小米技術日本株式会社

Xiaomi、IFA 2026 に初出展
過去最大規模の海外単独ブースで
「Human × Car × Home」スマートエコシステムを紹介

ドイツ・ベルリン、2026 年 9 月 3 日 – コンシューマーエレクトロニクスおよびスマート製造のグローバルリーダーである Xiaomi は、ドイツ・ベルリンで開催される「IFA 2026」に初出展します。3,300 平方メートルを超える展示スペースを展開し、Xiaomi にとって過去最大規模の海外単独ブース出展となります。



Xiaomi IFA 2026

Human × Car × Home



Product images may differ slightly from actual product.

会場では、380 以上の製品、先進的なテクノロジー、実際の利用シーンを想定したデモンストレーションを一堂に紹介し、パーソナルデバイス、スマートホーム、モビリティの領域を横断する Xiaomi の「Human × Car × Home」スマートエコシステムの全体像を紹介します。さらに AI が、異なる環境にあるデバイスやサービスを連携させることで、日常生活においてより直感的で自然な体験を実現する様子も披露します。

Xiaomi CMO の Xu Fei（シュ・フェイ）は、次のように述べています。

「今年の IFA は、Xiaomi のグローバル展開における重要なマイルストーンとなります。Xiaomi はこれまで、スマートフォンからスマートホーム、そしてスマートカーへと事業領域を拡大するとともに、AI、OS、チップ、スマート製造などの基盤技術への投資を深めてきました。現在、これらの事業と技術力が『Human × Car × Home』スマートエコシステムのもとで一つにつながり、今回の IFA ではその全体像を世界中のお客様に大規模にご紹介します。」

さらに Xu Fei は、次のように続けています。

「欧州は Xiaomi のグローバル戦略において重要な市場です。Mijia ブランドが欧州全域で本格的に展開され、さらに 2027 年には Xiaomi Auto の欧州市場への参入が予定されています。これにより、『Human × Car × Home』スマートエコシステムを構成する 3 つの中核領域であるパーソナルデバイス、スマートカー、スマートホームが、この地域で一つのエコシステムとしてつながり始めます。これは単に欧州により多くの製品を提供するということではありません。Xiaomi が持つテクノロジーとエコシステムの力を、欧州全域のより多くのユーザーに届けていくことを意味します。」

「Human × Car × Home」スマートエコシステムを構成する 380 以上の製品を展示
Xiaomi の IFA 展示は、「AI Tomorrow」「AI Today」「Human × Car × Home Product Portfolio」の 3 つの主要エリアで構成されています。

未来を見据えたコンセプトから、現在利用できるインテリジェントな体験、そして Xiaomi の幅広い製品ポートフォリオまで、来場者が段階的に体験できる構成となっています。

「AI Tomorrow」では、「Xiaomi Vision Gran Turismo」を通じて、インテリジェントモビリティの未来像を提示します。自動車デザイン、パフォーマンステクノロジー、デジタル体験が交わることで生まれる新たな可能性を紹介します。

「AI Today」では、こうしたテクノロジーを実際の生活空間へと展開します。

「Xiaomi SU7 Max」と、キッチン、リビングルーム、寝室、書斎などの生活空間を中心に、AI がパーソナルデバイス、車、スマートホーム製品を日常のニーズに合わせて連携させる様子を紹介します。

「Human × Car × Home Product Portfolio」では、調理・食品保存、ホームクリーニング、空気管理、オーディオビジュアル・エンターテインメント、安全・セキュリティ、パーソナルデバイス、スマートモビリティの7つのカテゴリーから、380以上の製品を展示します。Xiaomiのエコシステムの幅広さを示すとともに、共通のテクノロジー、システムレベルの連携機能、統一されたデザイン言語によって、異なるデバイスやカテゴリーをまたいだ、より一体感のある体験を実現できることを紹介します。

Xiaomiの「Human × Car × Home」スマートエコシステムは、パーソナルデバイス、スマートカー、スマートホーム製品をつなぐ、ユーザー中心のインテリジェントなエコシステムです。単なるデバイス間の接続にとどまらず、AIとXiaomi HyperOSによって、製品やシーンをまたいでデバイスやサービスが連携し、ユーザーの日常生活における様々なニーズに応える、より直感的でシームレスかつスマートな体験を実現します。

3年間にわたる継続的な取り組みを経て、「Human × Car × Home」スマートエコシステムは、大規模な展開を支える強固な基盤を確立しました。

Xiaomiのスマートフォン出荷台数は24四半期連続で世界トップ3にランクインしています。また、タブレット出荷台数は世界第4位となり、世界トップ5入りは9四半期連続を達成。ウェアラブルバンド（スマートバンドおよびスマートウォッチを含む）の出荷台数も世界第2位となっています。^{*1}

Xiaomi Autoは中国本土において市場参入からわずか2年で70万台以上を納車し、Xiaomi YU7は発売初日に24万台を超える確定注文を獲得しました。^{*2}

同時にXiaomiは、世界をリードするコンシューマー向けAIoTプラットフォームを構築しており、スマートフォン、タブレット、ノートPCを除く接続デバイスは11億台を超え、世界中で1億7,500万人以上のユーザーおよび世帯に利用されています。^{*1}

こうした製品、テクノロジー、エコシステムの各領域で積み重ねてきた規模と能力が、「Human × Car × Home」スマートエコシステムをビジョンから日常生活へと実現していくための強固な基盤となっています。

AI をリアルな世界へ

AI の進化にともない、インテリジェントな体験は、単なるデバイス同士の接続から、ユーザーのニーズを理解し、より先回りしてサービスを提供する新たな段階へと移行しています。

Xiaomi は、AI の次なるステップは、画面上で質問に答えるだけにとどまるものではないと考えています。より重要なのは、AI が現実の状況をより深く理解し、ユーザーの許可とコントロールのもとで、複数のデバイスを連携させながら、現実世界における様々なタスクの実行をサポートできるようになることです。

「Human × Car × Home」スマートエコシステムは、この移行を支える重要な基盤となります。同じユーザーを中心にスマートフォン、車、スマートホームデバイスをつなぐことで、AI が様々なシーンにまたがる状況を理解し、複数のデバイスを連携させてタスクを実行するための基盤を提供します。

これにより、インテリジェントな体験は、単にユーザーの指示に応答する段階から、ユーザーの意図を理解し、より先回りしてサポートする段階へと進化します。

IFA では、「Human × Car × Home」スマートエコシステムによって、テクノロジーが日常生活の中でより自然に機能する様子を紹介します。

例えば、ユーザーが車で自宅に向かっている際には、時間、位置情報、天候などの状況に応じた情報を活用し、到着前に照明やエアコンを自動的に調整できます。

自宅では、「今撮った写真をプリントして」といった簡単なリクエストによって、複数のデバイスが連携してタスクを完了します。また、読書などのアクティビティに合わせて、照明、カーテン、室温を連携して調整するシーンも紹介します。

これらの体験を通じて、Xiaomi は次世代のインテリジェント体験に対するビジョンを示します。それは、個々のデバイスを操作することから、AI が状況やユーザーの意図を理解し、異なるシーンにまたがってデバイスを連携させ、現実世界においてテクノロジーをより便利なものにしていくことです。そして、そのすべての中心にあるのは、常にユーザー自身によるコントロールです。

インテリジェントな体験を支えるテクノロジー基盤

デバイスやシーンをまたいだ Xiaomi の体験の背後には、AI、OS、チップ、スマート製造への長期的な投資によって構築されたテクノロジー基盤があります。

Xiaomi HyperOS とこれらの技術力を組み合わせることで、スマートフォン、車、スマートホームデバイス、新たなフォームファクターにまたがるハードウェアとソフトウェアの統合をさらに深め、Xiaomi のエコシステム全体でより一貫性のあるインテリジェントな体験を支えています。

AI 分野では、Xiaomi は自社開発による大規模モデルの能力を継続的に進化させています。MiMo-V2.5-Pro、Xiaomi Miloco、Xiaomi Miclaw などの最新の取り組みにより、AI の理解、推論、実行能力をさらに強化し、AI を単に質問に答える存在から、より複雑な現実世界のタスクを支援する存在へと進化させる可能性を探求しています。

一方、スマート製造は、Xiaomi が技術革新を大規模な製品展開へと落とし込むことを可能にしています。

Xiaomi は中国本土において、スマートフォン、車、家電の 3 つの主要製品分野でスマート製造能力を構築しています。

Xiaomi Smart Factory は年間約 1,000 万台のフラッグシップスマートフォンの生産能力を有し、Xiaomi Smart Factory | Wuhan は、研究開発から生産、検証までを一体化し、46 の研究・実験室を備えています。ピーク時の生産速度では、6.5 秒に 1 台のエアコンを生産ラインから送り出すことが可能です。

さらに、Xiaomi は製造工程におけるヒューマノイドロボットの導入も進めています。Xiaomi Auto Factory では、ナットの締め付けなどの作業において、ヒューマノイドロボットを活用することで、わずか 4 カ月の間に作業の成功率を約 90% から 98% まで向上させました。

Xiaomi は、自社開発のチップ能力への投資も継続しています。コンピューティングアーキテクチャ、NPU など、コア製品体験と長期的な競争力を形作る重要技術に注力しています。

IFA では、「Human × Car × Home」スマートエコシステムを支える新たな AI コンピューティング基盤も展示し、最新のコンピューティング技術がデバイスやシーンをまたいだ AI 体験をどのように支えるのかを紹介します。

また、次世代 Xiaomi XRING O3 チップを搭載する初のフラッグシップスマートフォン「Xiaomi 18 Fold」も展示します。モバイルコンピューティング、フォルダブルという新たなフォームファクター、オンデバイスインテリジェンスに対する Xiaomi の最新の取り組みを紹介します。

IFA 会場では、Xiaomi CyberOne も展示され、フィンガーハートやサムズアップなど、リアルタイムのジェスチャーを通じて来場者とインタラクションを行います。展示会場だけでなく、Xiaomi CyberOne は Xiaomi Auto Factory でも実証試験を進めており、実際の製造工程における作業を通じて、その能力の検証・評価を行っています。

Xiaomi は、自社の製造現場を実証の場として活用することで、Xiaomi CyberOne の知覚、制御、タスク実行能力を継続的に向上させるとともに、スマート製造におけるヒューマノイドロボットの実用的な可能性を探求しています。

Xiaomi Auto、「Human x Car x Home」スマートエコシステムを路上へ

Xiaomi Auto は、「Human x Car x Home」スマートエコシステムにおけるモビリティ領域を会場に展開し、未来を見据えたコンセプトから現在のインテリジェントなドライビング体験まで、その歩みを示す 3 台の車両を展示します。

自動車展示の中心となるのは、伝説的なレーシングゲーム「Gran Turismo」シリーズのために Xiaomi が開発した、革新的な電動ハイパーカーのコンセプトモデル「Xiaomi Vision Gran Turismo」です。Xiaomi は、テクノロジー企業として初めて「Vision Gran Turismo」プログラムに参加しました。

バーチャルコンセプトカーとして構想された Xiaomi Vision Gran Turismo は、現実世界の制約にとらわれることなく、自動車デザイン、空力性能、インテリジェントなインタラクションの未来を再定義し、その可能性を追求しています。

空気の流れをもとにデザインされた「Shaped by the Wind」エクステリアは、ティアドロップ型のコックピットと「Active Wake Control System」を組み合わせています。また、「Racing on a Sofa」とコンセプトとしたキャビンや、リング型の AI アシスタント「Xiaomi Pulse」により、デザイン、パフォーマンステクノロジー、インテリジェントなインタラクションが融合する未来の姿を垣間見ることができます。

会場には、新世代の「Xiaomi SU7」と「Xiaomi SU7 Ultra」も展示します。

新世代 Xiaomi SU7 は、新たな時代のドライバーズカーとして位置付けられ、エレガントかつスポーティなデザインと、Xiaomi HyperOS および Xiaomi の幅広いスマートエコシステムとの深い統合を特徴としています。ユーザーのパーソナルデバイスや

スマートホームと自然につながることで、「Human x Car x Home」スマートエコシステムの一部として機能します。

Xiaomi SU7 Ultra は、Xiaomi Auto の高性能フラッグシップモデルです。ニュルブルクリンク北コースで実証された Xiaomi のエンジニアリング能力をさらに進化させており、量産モデルの Xiaomi SU7 Ultra は、「エレクトリック・エグゼクティブカー」カテゴリにおいて公式記録を樹立しています（2025 年 4 月時点）。

これらの車両は単独で展示されるだけではありません。自動車展示全体を通じて、Xiaomi Auto が Xiaomi のインテリジェントな体験を路上へと広げ、車を「Human x Car x Home」スマートエコシステムの重要な一部へと位置付けていることを示します。Xiaomi Auto は 2024 年 3 月に初の車両を納車して以来、中国本土で 70 万台以上を納車しており、2027 年に予定されているドイツを含む欧州市場への進出に先駆けて、エコシステムにおけるモビリティ領域を現実のものとしています。

Mijia、より幅広いスマートホーム製品群で欧州全域へ展開

IFA 2026 において Xiaomi は、スマートホームブランド「Mijia」の欧州全域への大規模展開を発表しました。「The Art of Smart Living」をブランドポジショニングに掲げる Mijia は、人を中心に考えたインテリジェンス、実証された品質、洗練されたデザインを融合し、日常生活においてより自然で、直感的かつ信頼できるスマートホーム体験を提供します。今回の展開により、欧州のユーザーにより幅広い Mijia 製品と体験を提供し、地域における Xiaomi の「Human x Car x Home」スマートエコシステムの「Home」の領域をさらに強化します。

Mijia のアプローチは、個々の家電に単に接続機能を追加することにとどまりません。Xiaomi は、スマートホームが「接続されたデバイス」の段階から、家全体の様々なデバイスがより高度に連携し、ユーザーや環境、利用シーンの違いに応じて、より自然に反応する段階へと進化していくと考えています。

「Xiaomi Home」アプリを通じて、対応する Mijia 製品をひとつのプラットフォーム上で一元管理できるほか、家庭内のさまざまなシーンにおいて、複数の製品を連携して利用することができます。こうした体験においては、常にユーザーの許可とコントロールを中心に据えています。

これらの機能は、スマートホームが、個々のデバイス単位のインテリジェンスから、より統合されたシステムレベルのインテリジェントな体験へと進化していることを示しています。

現在、Mijia は 130 以上の製品カテゴリーにまたがる 2,000 以上の製品を展開し、共通のエコシステムを通じて接続しています。

AI、OS、IoT 接続における Xiaomi の技術力を基盤として、Mijia は従来型の家電にもインテリジェンスを組み込み、よりスマートで直感的、そしてシームレスな日常生活を実現します。

Mijia の体験において、デザインも重要な役割を担っています。Xiaomi の「Alive」デザイン哲学に基づき、Mijia はシンプルで自然、親しみやすいデザイン言語を採用しています。製品間の統一感を生み出しながら、現代の生活空間にテクノロジーが自然に溶け込むことを目指しています。これまでに Mijia 製品は、500 以上の国際的なデザイン賞を受賞しています。

Mijia の欧州全域への展開に伴い、Xiaomi は今後もホーム領域における製品とサービスを強化し、地域のユーザーにより統合されたインテリジェントな体験を提供していきます。この展開を通じて、Xiaomi は AI をデジタル世界のさらに先へと広げ、インテリジェントなサービスを人々の日常生活により自然に取り入れていくことを目指します。

長期的な研究開発投資が支える Xiaomi のグローバル成長

欧州は Xiaomi のグローバル戦略において重要な市場であり、「Human × Car × Home」スマートエコシステムをさらに拡大していくうえで重要な地域です。Xiaomi は今後も、欧州における長期的な取り組みを一層強化していきます。現地での研究開発、製品、リテール、サービス体制を強化することで、持続的な成長を支えるとともに、欧州のユーザーにより良い製品・サービスを提供していきます。

2026 年から 2030 年にかけて、Xiaomi はグローバルで 240 億ユーロを超える研究開発投資を見込んでいます。^{*3}

投資対象は、AI、OS、自社開発の半導体技術、スマートカー、ロボティクス、スマート製造など多岐にわたります。こうした基盤技術への投資を通じて、Xiaomi は、パ

ーソナルデバイスやスマートホームからモビリティに至るまで、様々な製品・カテゴリーに横断的に活用できる技術力を構築しています。そして、それらをより優れた製品や、より統合されたユーザー体験へとつなげていきます。

Xiaomi は今後も、長期的な投資とグローバル市場におけるさらなるローカライゼーションを組み合わせています。「Human × Car × Home」スマートエコシステムを通じて、Xiaomi はパーソナル、ホーム、モビリティの各領域をつなぎ、AI をより多くの現実世界のシーンへと広げ、世界中のユーザーにとってインテリジェントなテクノロジーがより自然で便利なものとなることを目指します。

注記

*1 Omdia の 2026 年第 2 四半期データに基づく。

*2 Xiaomi 社内データ。2026 年 3 月までに納車された Xiaomi Auto の全モデルを対象。

*3 1 ユーロ = 8.33 人民元の為替レートに基づき、人民元からユーロへ換算した金額。

Xiaomi Corporation について

Xiaomi Corporation は 2010 年 4 月に設立され、2018 年 7 月 9 日に香港証券取引所のメインボードに上場しました (1810.HK)。Xiaomi は、スマートフォン、スマートハードウェア、スマート EV を中核とし、これらを IoT プラットフォームによってつなぐ、コンシューマーエレクトロニクスおよびスマート製造企業です。

「ユーザーと友達になり、ユーザーの心の中で最もクールな企業になる」というビジョンのもと、Xiaomi はイノベーション、高品質なユーザー体験、そして高いオペレーション効率を継続的に追求しています。

Xiaomi は、革新的なテクノロジーを通じて世界中のすべての人々がより良い生活を享受できるよう、適正な価格で魅力的な製品を提供することにたゆまぬ努力を続けています。

Xiaomi は世界をリードするスマートフォンメーカーの一つです。2026 年 6 月時点で、世界の月間アクティブユーザー数（MAU）は 7 億 6,650 万人（スマートフォンおよびタブレットを含む）に達しています。

また、Xiaomi は世界をリードするコンシューマー向け IoT（AI+IoT）プラットフォームを構築しています。2026 年 6 月 30 日時点で、同プラットフォームに接続された IoT デバイス数は、11 億 6,080 万台（スマートフォン、ノート PC、タブレットを除く）に達しています。

2023 年 10 月、Xiaomi は「Human × Car × Home」スマートエコシステムへと戦略をアップグレードし、パーソナルデバイス、スマートホーム製品、車をシームレスに融合しました。Xiaomi はスマート EV 業界をリードするイノベーターとして急速に成長しており、納車開始から 6 四半期で黒字化を達成。2026 年 2 月までに累計 60 万台以上を納車しました。

Xiaomi は常に「人」を中心に据え、より包括的で、よりシームレスにつながる体験の提供に取り組んでいます。そして、Xiaomi 製品は世界 100 以上の国と地域で展開されています。2026 年 7 月には、Xiaomi は「Fortune Global 500」に 8 年連続で選出され、232 位にランクインしました。Xiaomi はハンセン指数、ハンセン中国企業指数、ハンセン TECH 指数、ハンセン中国 50 指数の構成銘柄です。